



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年 3月 15日	
問い合わせ先	課名	教育委員会文化財課
	電話	直通 803-1611 内線 3877
担当者	職名・氏名	課長 草原孝典
	職名・氏名	主任 寒川史也

広 報 連 絡

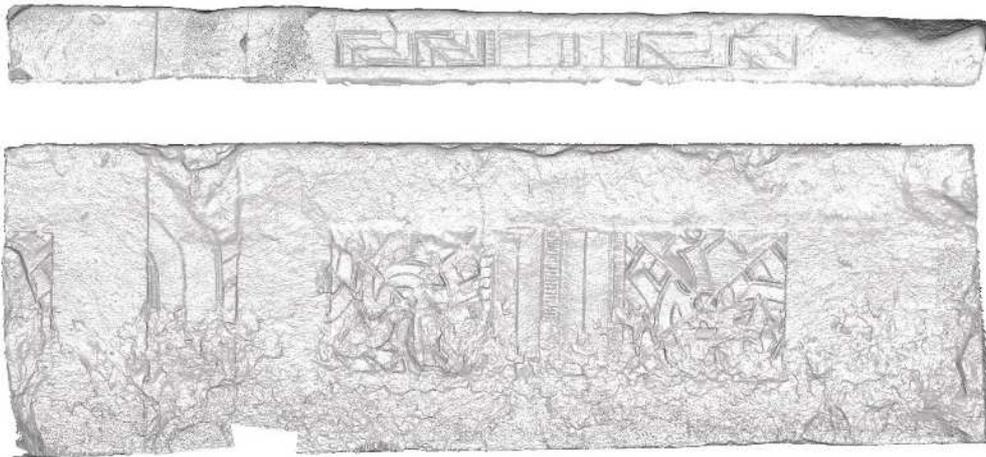
- 1 件 名 史跡^{せんぞくこふん}千足古墳の石障^{せきしょう}を公開します
- 2 日 時 令和5年3月20日(月)～4月1日(土)
各日9時～16時30分 ※日曜・祝日は休館
- 3 場 所 岡山市埋蔵文化財センター収蔵展示室(中区網浜)
- 4 内 容 平成21年度に、史跡千足古墳石室内の石障文様が損傷していることが明らかとなりました。その後の調査の結果、そのままの状態では、文様全体が失われる可能性が高いことが明らかとなったことから、急遽、平成23年度に石室から石障を取り出し、岡山市埋蔵文化財センターへ移動する緊急避難措置がとられました。その後、状態が安定したため、期間を限定して公開するものです。
国指定史跡の千足古墳は、九州系の初期横穴式石室内に直弧文を彫刻した石障がおかれていることで著名で、古墳時代中期の吉備と九州の密接な関係を知ることができる重要な古墳です。
- 5 備 考 問い合わせ先 岡山市埋蔵文化財センター ☎086-270-5066

※裏面あり

— 史跡千足古墳の石障^{せきしょう}（仕切石^{しきりいし}） —

岡山市教育委員会文化財課

岡山市北区新庄下の史跡千足古墳は、全長が300mを越える超巨大前方後円墳である史跡造山古墳の前方部前面に築かれた6基の陪塚群のうちの1基です。いずれの古墳も史跡に指定されています。史跡千足古墳の埋葬施設は、北部九州地域の古式横穴式石室で、肥後（熊本県）地域特有の石障（仕切石）には直弧文が刻まれており、九州と吉備のつながりを示す古墳として著名です。ところが、平成21年度に石障の文様が損傷していることが明らかとなりました。その後の調査で、そのままの状態では放置しておく、文様全体が失われる可能性が高いことが明らかとなり、急遽、平成23年度に石室から石障（仕切石）を取り出し、岡山市埋蔵文化財センターへ移動する緊急避難措置がとられました。その後、乾燥を経て状態が安定したため、期間を限定し一般公開を行います。



史跡千足古墳石障（仕切石）実測図